

第8期(2010年度)SSCS(Small Schools for Civil Society)

インターンシップ奨励プログラム

活動カリキュラム(2010年7月～2011年6月)




■ 団体概要

記入日 2010年2月

| | |
|----------------------|---|
| 団体名 (小さな学校) | 特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター (FICEC) |
| 代表者 連絡担当者 | 代表者:理事長 石井 ナナエ 連絡担当者:上島 直美 |
| 団体住所等 | 〒356-0004 住所:埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-25 ※22年7月頃、移転予定(詳細はまだ未定です) 電話:049-256-4290 FAX:049-256-4291 E-mail:npo-ficec@ficec.jp URL:www.ficec.jp 連絡のつく曜日・時間帯:月曜日～金曜日 10時～16時 土曜日 10時～12時 |
| 設立時期 | 1998年4月設立 |
| 団体の活動目的 と 活動内容 | <p>外国籍の方々を“ゲスト”としてではなく、同じ地域に暮らす住民として、日々変化していく社会情勢にあわせた支援を行っています。</p> <p>また、お互いの文化や生活習慣を理解し、それを認め合い、尊重できる社会の実現を目指し、下記のような、様々な活動を行っています。</p> <p>多文化共生社会の実現を目指すこれらの活動は、強い意志と優しい心で夢を描き続けているボランティアスタッフによって支えられています。</p> <p>【主な活動】</p> <p>団体の活動目的と活動内容【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活相談 ●シェルター ●日本語教室 ●国際理解教室 ●国際子どもクラブ ●多言語情報誌の発行 ●イベントの企画・運営 <p>※NPOの組織を運営するスタッフとして全てのことに関わって頂きます。</p> |

■ 活動カリキュラム

| | |
|-------------------------------|---|
| 活動名 | 外国籍の人々への協力・支援、およびそれぞれの共生を目指す各種事業の運営 |
| 主な活動場所 最寄駅と駅からの距離 | ふじみの国際交流センター 東武東上線 上福岡駅 から 徒歩約5分 ※22年7月頃、移転予定。(詳細はまだ未定です) |
| スケジュール 2010年7月3、4日 ＜前期＞ | <p style="text-align: right;">*カリキュラムは、状況や事情により変更となる場合があります。</p> <p>「事前研修と入校式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターン開始 ・オリエンテーション ・ふじみの国際交流センター全体の把握と理解 ★特定の活動に限定するのではなく、最初はセンターの事業内容を理解してもらった上で、上記の様々な活動に参加していただきます。 ・日常業務に関する事務補佐 ・夏休みの子供たちの日本語および学習指導 |
| 2010年11月頃 ＜後期＞ | <p>「中間報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の人権擁護と自立支援の活動に参加 ★前期で得られた経験を振り返り自分に向けた事業を特定し、必要な学習や研修をしていただきながら、活動の幅を広げていただきます。 ・日常業務に関する事務補佐 ・冬休みの子供たちの日本語および学習指導 |
| 2011年3月頃 | <p>「9ヵ月インターン修了報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き外国人の人権擁護と自立支援の活動に参加 ・春休みの子供たちの日本語および学習指導 ・日常業務に関する事務補佐 |
| 2011年6月頃 | <p>「修了報告会」</p> |
| スーパーバイザー (統括受入担当) | 石井 ナナエ |
| メンター (日常的受入担当) | 上島 直美 |
| 活動日・ 活動時間について | 月曜日～金曜日 10時～16時 土曜日 10時～12時 |
| 団体を理解するための情報について | ふじみの国際交流センターホームページ http://www.ficec.jp/ ★ホームページには外国籍の方々のみならず、日本人にとっても興味深い情報が数多くあります。ぜひアクセスしてください。 |

| | |
|---------------------|---|
| <p>インターンに期待すること</p> | <p>国際交流と聞くと、華やかなイメージを持たれるかもしれませんが、しかし、外国籍の方の中には、差別、貧困、DVなどの問題を抱える方も多く、暗くて苦しいトンネルから抜け出す方法を求めてセンターに来ます。</p> <p>そんな外国籍の方々の抱える問題を一緒になって考え、人間関係を築くことが一番大切です。そして、触れ合いを通して、背後にある様々な問題を感じ取っていただきたいです。助けを求めてくる外国籍の方々に対して、まず状況を把握し、相手の気持ちになって考え、悩みを分かち合い共有し、そしてしかるべき行動をすることが求められます。人と人とのコミュニケーションが希薄になっている今の社会においても、やはり基本は人間同士のつながりです。センターの活動を通じて、外国籍の方々のみならず、日本人ボランティアスタッフや他の団体の方々、センターの活動を理解し協力を申し出てくださる市民の方々と積極的にコミュニケーションをとりながら、活動の幅を広げてください。特に語学力は必要ありません。若い力に期待しています！</p> |
| <p>団体からのメッセージ</p> | <p>日本社会の国際化は、止まることがないと思われまます。それに伴い問題も多岐にわたり、そして複雑になってきています。しかし外国籍の方々への支援はまだまだ十分でないのが実情です。外国人が住みやすい社会は、日本人にとっても住みやすい社会です。文化や価値観の違いを乗り越えて、外国人も安心して暮らせる社会を一緒に作っていきましょう。</p> |
| <p>団体の写真</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ふじみの国際交流センター外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日本語教室の1コマ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>多言語情報誌 “インフォメーションふじみの”</p> </div> </div> |
| <p>修了生からのメッセージ</p> | <p>ふじみの国際交流センターは人生観が180度変わる場所です。スタッフが無償でセンターに通ってしまう理由がここで分かるはずですよ。</p> <p>私はここで本当にたくさんのバックグラウンドを持った人たちに出会いました。センターで一生懸命勉強をして試験に受かったヨルダンから来た女の子と抱き合って喜んだり、家庭内の問題で悩むフィリピン人女性と共に涙を流したり、また言葉でのコミュニケーションがはかれないフランス人とお互い辞書を持ち寄り電話で口論をしたこともありました。毎日がドラマ、それがふじみの国際交流センターです。絶対にこのインターンが終わったあとに自らの成長を実感することが出来ると思います。学生のうちにしか出来ないこの貴重な時間をここで一緒に過ごしてみませんか？</p> <p style="text-align: right;">7期インターン 神田 歩(大妻女子大学 4年・参加当時)</p> <p>私はこのインターンに参加するまで、自分の住んでいる地域にこんなにも多くの 外国人が住んでいること、外国人が日本に住むことがどれだけ難しいかということを考えたことがありませんでした。センターの活動をしていなければ会う ことができなかつた人々や知ることができなかつたことが数多くあります。このインターンは日々の活動を通して自分の価値観や今まで培ってきた自分の常識が 大きく変わるきっかけになると思います。</p> <p style="text-align: right;">7期インターン 沢田恵理(玉川大学 3年・参加当時)</p> |